



復刊第157号
題字 吉岡 弥生

巻頭言

—初夢に託す—

会長 橋本葉子

明けましておめでと〜ございます。皆様お揃いで良いお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は佐藤千代子前会長の予期しないご病気のため、私が会長に選出され、何も出来ないうちに新年を迎えてしまいました。今年は無年ですので、日本女医学会も躍動の年にしたいと考えております。

新年にいろいろな夢を見ました。第一の夢は、働く女性の環境整備の実現に取り組み始めたことです。社会的活動—たとえば暖かい介護支援、子育て支援体制の整備・充実、安心して出産できる環境の整備等への参画—が活発に行われるようになりました。環境が整った暁には、働く女性には皆生き生きと自分の職場で働いております。一族には少なくとも二人の子供が元気に遊んでおります。

一方、女性が結婚したいと思う男性が増加してきました。これで少子化問題は吹き飛ぶと一安心です。今まで日本女医学会に無関心だった女性医師も、積極的に女医学会に加入するようになりました。

第二の夢は、日本女医学会創立一〇〇周年記念事業の一つとして、記念式典を2002年5月3日に盛大に行うための環境が整いつつあります。昨年の小淵・クリントン会談で、小淵首相は1999年内に経済のブラ

ス成長をクリントン大統領に公約いたしました。われわれ医療従事者にも希望が持てるような医療制度が確立し、皆、晴れ晴れとした表情で、記念式典の準備に励んでおります。

第三の夢は、2004年の第26回国際女医学会議誘致に向けて、準備が順調に進んでいることです。1998

年の第24回国際女医学会議は、嵐に翻弄されました。2001年にオーストラリアで開催される第25回国際女医学会議は何事も起こらず、平穩のうちを終了するものと思われれます。2004年には日本女医学会創立一〇〇周年記念事業の一つに位置づけて、第26回国際女医学会議の日本への誘致を是非実現させたいものです。

第四の夢は、医師としての男女共同参画への第一歩として、日本医師会の理事として女性医師が選出されました。今までは正規に設けられた委員会の委員に参加させていただけのが精一杯でしたが、これからは女性医師として理事会の運営に参加できるようにになりました。21世紀を目前に控え、介護保険問題もいよいよ大詰めを迎え、女性医師を参画させないわけには行かなくなりました。女性医師も今までのように、なるべく家庭を犠牲にしないようにとばかり心を砕いている時代ではなくなってきたことを、認識するようになりしました。

第五の夢は、国会に女性医師の代表を送ることが実現しました。以前は竹内茂代先生及び福田昌先生が衆議院議員として、山本杉先生及び川野辺静先生が参議院議員として活躍でしたが、その後はなかなか女性医師を国会に送ることが出来ないうちで、昨今の医療制度の改革に関して、保険医療発足以来の危機に面していると言っても過言ではないでしょう。昨年の11月27日には、

もくじ

巻頭言—初夢に託す—……………橋本葉子(1)

- 〈年頭所感〉
- 群馬・角田由美子(2)……………大阪第2・肥塚典子(3)
- 埼玉・加島 なみ(2)……………大阪第3・杉本睦子(3)
- 栃木・大平 民子(2)……………大阪第5・和田純子(3)
- 茨城・宮本 佳子(2)……………大阪第6・野呂幸枝(3)
- 千葉・山本みどり(3)……………大阪第7・弓場光子(4)
- 神奈川・森田 和子(3)……………大阪第8・井筒初子(4)
- 兵庫・宮地 民子(4)……………兵庫・宮地 民子(4)

〈第24回MWA総会、サンパウロで開催〉

- 第24回国際女医学会役員会報告……………橋本葉子(4)
- 第24回国際女医学会議報告……………平敷淳子(5)
- 国際女医学会議に参加して……………大原静子(6)
- 社会医学として二十一世紀の公衆衛生学をめざして……………岸玲子(6)

- 副知事に就任して……………神田慶子(7)
- 埼玉県教育委員に推薦されて……………深井登起子(8)
- 女医の環境整備小委員会報告(第1報)……………橋本葉子(8)
- ジョルダン・エジプト女性訪問団歓迎会に出席して……………橋本葉子(10)

- 第1回ブロック別懇談会報告……………清水洋子(10)
- アメリカ医師会長と日医女性会員との懇談会に参加して……………前田慶子(11)

- 男女共同参画社会について……………田中蘭子(12)
- 『命燃えて』観劇の後に……………金子ミサヲ(13)
- 〈私の大学〉 岩手医科大学……………佐々木美香(13)

- ・新医学用語辞典……………(5)
- ・第44回定時総会のご案内……………(7)
- ・講演会のお知らせ……………(8)
- ・地域医療奉仕活動に対する助成のご案内……………(11)
- ・「加藤シヅエ賞」募集要項……………(12)
- ・一般公開講演会……………(13)

- ・日本女医学会会員学位取得者一覧表……………(14)
- ・理事会議事録……………(15)
- ・会員動静……………(16)
- ・編集後記……………(16)

にあげられたと承りました。早速大阪十支部の役員たちが集合して、川田、西嶋の両理事先生のこの件に関するご説明をいただきました。久しぶりに心躍る感じがいたしました。最近著しく減少している会員と、支部長の欠員を補強し、十支部の充実を計らなければなりません。新しい年は大阪支部が国際会議のお世話が可能となる力を持つ女医

第24回MWIA総会、ブラジル・サンパウロで開催

第24回国際女医学会役員会議の報告

国際女医学会副会長西太平洋地域担当

橋本葉子

第24回国際女医学会は慌ただしい経過を経て、結局、汎太平洋女医学会、国際女医学会ラテンアメリカ地域会議、ブラジル女医学会を準備して行われました。この会議は第24回国際女医学会総会用の議事を確認するためのものです。4月に行われたい役員会議とは打って変わり、平穏な中にすべての議題は修了しました。大切な事項を報告いたします。

役員会議は10月6日13:00から7日の18:00までホテル・ソフィテルで行われました。この会議は第24回国際女医学会総会用の議事を確認するためのものです。4月に行われたい役員会議とは打って変わり、平穏な中にすべての議題は修了しました。大切な事項を報告いたします。

①「Treasurer」報告の中から、各地域・各国の会費納入会員数が公表されましたが、西太平洋地域は1995年には会員数三、七二名だったのに対し、1998年には二、八三〇と減少し、減少した国は、日本とニュージーランドです。他の地域で、会員数が減少したのは、北ヨーロッパ、中央ヨーロッパ、北アメリカ、中近東及びアフリカの各地域、増加したのは、南ヨーロッパ、ラテンアメリカの地域、ほぼ同数は中央アジア地域となっており、オランダが脱会したことはショックでした。先進国で会員数が減少している傾向が見られます。日本女医学会も会員増加には頭を悩ませておりますが、国際女医学会としても何らかの方策を考えねばならない時期にきているようです。

②十六年間に国際女医学会事務局長であったDr. Carolyn Motzelが事務局長を辞任し、Dr. Dorothy Wardと共に名誉会員となられました。後任の事務局長にはドイツ女医学会のDr. Waltraud Dickhausが就任されました。また、「Treasurer」にはスウェーデン女医学会のDr. Cajsa Raunittが就任されました。

③国際女医学会五十年会員が表彰されましたが、日本人は四十六名で、版なされたこととす。戦前、戦中、戦後の時代の流れに沿って、医師として、診療と教育、研究の最前線に立った一人の女性の記録で、後輩として現在に至る沿革史にたいへん感銘を受けました。むかしから女医の地位は低くみられておりましたが、日医委員会の一員として招聘くださった記事は快挙として喜び申しあげます。

会支部になるよう組織作りにも努力する年だと考えています。研究に、臨床にとご多忙でしょうが、若い会員のお力の活躍を期待し、新年を迎えたいと祈っています。

あらたまの年のはじめを会員の皆さまをこぼさず、二十一世紀に向けて羽ばたくことを願う次第です。さて当支部でのニュースと申ししますと、私の先輩で日本女医学会でも活躍、貢献されました、大阪女子医専が関西医科大学に昇格したときの女性第一号の皮膚科教授大原一枝先生が、昨年11月に医師五十余年のクニコル「集塵抄」という文集を出

大阪第8支部 井筒初子

兵庫支部 宮地民子



④第25回国際女医学会はオーストラリアのシドニーで2001年4月19日〜24日まで、会場はヒルトンホテルおよびThe Wesley Centreに決定いたしました。テーマは「Medicine in Multicultural World」の予定です。

⑤国際女医学会西太平洋地域担当副会長は既に次期副会長候補として決

定しております。ニュージーランドのDr. Margaret D. Maxwellが承認されました。1998〜2001年までを担当されます。このチーム中は西太平洋地域会議は開かれませんが、総会に代わる役員会議のようなものが必要になるかと思えます。そのうちDr. Maxwellから何らかの

ご提案が届くものと考えております。私の担当いたしましたチームは通常よりも半年間長かったため、役員会議も四回行われました。問題山積のチームでしたが、一応次期チームの副会長にバトンタッチが出来、肩の荷を降ろしたところです。

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

第24回国際女医学会報告

ナショナル・コーディネーター

平敷淳子

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

第24回国際女医学会(MWIA)は紆余曲折の末、10月8日から13日までブラジルのサンパウロで開催されました。今会議は橋本葉子日本女医学会副会長が西太平洋地域の頭、MWIAの地域副会長として公式会議に臨まれる最後になります。

新医学用語豆辞典

Ca²⁺チャンネル

近年、医学雑誌や新聞には「〇〇薬は〇〇チャンネルに阻害作用がある」等と頻りに書かれている。特にCa²⁺チャンネルはその頻度が高いように思われる。Ca²⁺チャンネルは、生体膜上に存在し、Caイオンを選択的に通過させるトンネル状のタンパク分子のことで、狭義には「電位依存性」のものを言う。電位依存性Ca²⁺チャンネルは筋や神経細胞に豊富に存在し、細胞膜が興奮すると細胞外から細胞内へCaイオンを流入させ、神経伝達物質の放出や、心筋の収縮など重要な生理機能に関与している。現在、電気生理学的、薬理的性質から、T,L,N,P,Q,R型に分類されている。T型は活性化の閾値が低く、電流の不活性化が速いが、その他の型は活性化の閾値が高く、特異的な阻害薬に対する反応により分類される。短時間作用型ジヒドロピリジン(DHP)系Ca拮抗薬は、血管平滑筋や心筋に分布しているL型Ca²⁺チャンネルに親和性が高く、血管を拡張し心筋収縮を抑制する。N型は中枢及び末梢神経系に存在し、ω-コノトキシンG VI Aが阻害薬である。N型Ca²⁺チャンネルを阻害すればノルエピネフリンの放出は抑制され、反射性頻脈も抑制される。P型の阻害薬はω-アガトキシンIV A、Q型のそれはω-コノトキシンMVICである。遺伝子解析の進歩により、これらは再分類される可能性があるようである。短時間作用型ジヒドロピリジン(DHP)系Ca拮抗薬は、急激な降圧作用から交感神経緊張や反射性頻脈を起こしやすい事が分かってきた。現在では短時間作用型よりも長時間作用型が主流となっているが、シルニジピンのように長時間作用型DHP系Ca拮抗薬としてもN型Ca²⁺チャンネルの阻害作用も兼ねた新型の薬剤が臨床に供されている。

- 1. Oncology
2. Eating Disorders
3. Reproductive Technologies
4. Menopause and Hormone Replacement Therapy (HRT)
5. Caesarean Sections
6. Smoking
7. Healthcare policy
8. Landmines
9. Street (homeless) Children
10. Child Health Care
11. Substance Abuse

改正男女雇用機会均等法のポイント (別表1)

1. 男女雇用機会均等法

Table with 4 columns: 事項, 改正法, 現行法, 施行期日. Rows include recruitment, promotion, training, and various prohibitions.

2. 労働基準法

Table with 4 columns: 事項, 改正法, 現行法, 施行期日. Rows include overtime and maternity leave.

3. 育児・介護休業法

Table with 4 columns: 事項, 改正法, 現行法, 施行期日. Row includes night work.

4. 労働省設置法

Table with 4 columns: 地方支分部局の名称, 都道府県女性少年室, 都道府県婦人少年室, 施行期日.

育児・介護休業法の概要 (別表2)

1. 育児休業制度

労働者は、その事業主に申し出ることにより、子が一歳に達するまでの間、育児休業をすることができる。

2. 介護休業制度

労働者は、その事業主に申し出ることにより、連続する3ヶ月の期間を限度として、常時介護を必要とする状態にある対象家族〔配偶者、父母及び子（これらの者に準ずる者を含む）〕1人につき1回の介護休業をすることができる。

3. 深夜業の制限

事業主は、小学校入学までの子の養育や常時介護を必要とする状態にある対象家族の介護を行う一定範囲の労働者が請求した場合においては、事業の正常な運営を妨げる場合を除き、深夜において労働させてはならない。

4. 勤務時間の短縮等の措置

事業主は、育児・介護休業せずに育児や介護をしながら働き続ける労働者のために、短時間勤務制度、フレックスタイム制度、始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ、所定外労働の免除(育児のみ)、託児施設の設置運営、育児・介護費用の援助措置等のうち、いずれかの措置を講じなければならない。

10年6月20日発行の「日医ニュース勤務医のページ」に掲載されておりますし、平成8年10月に日本母性保護産婦人科医学会から「産婦人科女性医師の有する諸問題に関するアンケート結果」として小冊子に纏められております。

日産婦人科連合会地方部会及び平成9年4月の日産婦人科連合会に託児室の併設が実現化されたことです。学会会場に託児施設が併設されれば、学会参加者も増加することが予想されます。

ないというご連絡でしたので、是非実現して欲しいとお願いしておきました。お二人の問題提起を踏まえて、委員全員の忌憚のないディスカッションが行われ、第1回小委員会の総括として、(1)卒業後の医師及び医療の実態を一般紙に採り上げてもらい、市民の理解を促すよう運動する。

②女性医師の働く職場並びにその地域の行政機関に、保育時間の延長、病児保育や二十四時間保育体制の実現に向けての要望書を送付する。③日本医師会の少子化対策委員会に今回の討論の内容を伝える。等が挙げられ、早速実行に移すことになりました。

の素案を作成し、弁護士に見ていただく。③は、石原副会長にお願いする。第1回小委員会の概要は広報部が担当し、日本女医学会誌上に報告することが決まりました。「第2回女医の環境整備小委員会」は1999年1月24日(日)11:00~14:00まで、日本女医学会議室で行う予定にしております。

埼玉県教育委員に推薦されて

埼玉支部 深井登起子

私このたび(昨年10月13日付をもって)埼玉県教育委員会委員を拝命いたしました。広報部からのご依頼を受け、おこがましくも筆をとりさせていただきます。

ちなみに埼玉県は女性管理職10.3%(全国平均1.9%)、さらに審議会の女性登用率は21.7%(全国17.4%)と非常に高く、教育委員会は五名中二名が女性で、私のほか登山家として有名な田部井淳子氏が活躍中です。

女医の環境整備小委員会を組織して、8月30日(日)に第1回小委員会を予定しておりましたが、台風到来のため延期せざるを得なくなり、やっと11月8日(日)11:00から14:00まで、日本女医学会議室において第1回小委員会を開催することができました。

出席の子定でありましたが、急病のため欠席されました。司会に加藤副会長、①会長挨拶、②自己紹介、③問題提起、④質疑応答、⑤今後への対策、⑥まとめ、⑦閉会という次第が了承され、直ちに小委員会は始まりました。

対馬氏は産婦人科女性勤務医に対するアンケート調査を基に、働く女性特に女性医師にとって、今、最も望まれるのは、育児に対する環境整備および代替医師派遣制度の充実等の勤務環境の整備であることを強調されました。このアンケートは平成

女医の環境整備小委員会報告(第1回)

会長 橋本葉子

講演会のお知らせ

演題「今こそ、日本女医会に期待すること」
日時1999年2月27日(土)15時から17時
演者柴田 洋子 東邦大学名誉理事長
鮫島 美子、関西医科大学同窓会長
大内 廣子 (社)至誠会(東京女子医大同窓会)会長
場所東京女子医大 中央校舎5階講義室
懇親会佐藤記念館1階 会費五千元



第1回ブロック別懇談会

の健康相談(TV)など女医ならではの特性を活かした積極的な活動を行って、市民の高い評価を受けていることが報告された。

健康の森見学会、や浜松の聖隷三方原病院でのターミナルケアの見学なども報告された。

問題点・以上のように各支部のみなみならぬ努力にもかかわらず会員増強という面では必ずしもよい結果につながらない場合が多く、そのネックになっているいくつかの点が指摘された。

ト及びジョルダンの団長から、それぞれ日本と両国とのエンパワーメントに対してのディスカッションを楽しまししているとの挨拶がありました。

1、女性医師の意識と暮しの問題 近年その数が急増し、女医であるという点による不利益やその他の差別も全く問題にしていない者が多い。特に若い女医は研究、結婚・育児に忙しく、時間的にも経済的にも女医会に参加する余裕を持っていないのも現実であり、この点から、会合時の保育や会費の減免なども検討しては、との意見もあった。

強をはかり会の活性化を目指したいので、率直に意見を聞かせて欲しいとの挨拶があった。

最後に橋本会長から、活発な発言に対する謝辞があり、第一部を終了。続いて午後六時からなごやかな懇親会(宮原理事の司会、福生前理事の乾杯)に移って、午後八時盛会のうちに終了した。

追記…懇親会の席に出席の理事からも種々の発言があったが、本会の性格上誌上では割愛させて頂いた。

2、各々のイベントを開催…女医会が主体となり各種の催しや活動を行うこと。栃木の例でも示されたように、これらを機に市民へのPR、啓蒙そして女医学会自体の組織強化をはかることが出来る。たとえば、群馬、埼玉、宮城では公開講演会、また埼玉ではこの他「女性のための健康相談」、群馬は「母乳育児のための電話相談」、愛知では「婦人と子供がまだ十分に知られていないことがわかり、まず支部長所属の眼科医会報に『日本女医学会の歴史や活動情報』を掲載したところ好評を博し、続いて県医師会報にも取上げられた。宮城・年間五回の例会報告を仙台市と古川市医師会報に掲載、また昨年は過去七年分をまとめ小冊子として発行した。愛知は毎年会員便りを、神奈川県は二年ごとに会誌を発行、千葉県は医師会報に女医会便りを掲載、山梨は平成9年四十周年記念誌を発行、その他宮城では県、市医師会報にのる新入女性会員に対して必ず入会案内を送っている、など数多くの報告があった。

地域医療奉仕活動に対する助成のご案内

平成10年「地域医療奉仕活動」に対し助成を致しますので、ご案内申し上げます。

各地域において医療、公衆衛生等の奉仕活動を行なっている日本女医学会を主体とするグループを対象と致します。

(社)日本女医学会 事業部

ジョルダン・エジプト女性訪日団 歓迎会に出席して

会長 橋本葉子

国連NGO国内婦人委員会は、外務省の依頼で毎年ジョルダン・エジプト女性との交流を行っています。

第1回ブロック別懇談会報告

庶務部 清水洋子

11月7日(土)午後四時から、第1回ブロック別懇談会が横浜市内大雅飯店で開かれた。

出席者は、埼玉、神奈川各三名、群馬、千葉、静岡、山梨、愛知各二名、栃木、茨城、宮城、岐阜各一名、及び理事会より橋本会長、石原、橋川両副会長と鹿田、田中、吉崎、村田、中濱、野澤、丸茂、宮原、清水の計三十三名である。

この後各支部ごとに、会員増強を中心としてこれまで地域で行って来た活動を支部の現況等について、順次報告が行われた。これをテーマ別に紹介する。

1、広報活動…何よりもまずPRが肝腎であり日本女医学会の存在を広くアピールすることが全員から強調された。

2、各種のイベントを開催…女医会が主体となり各種の催しや活動を行うこと。栃木の例でも示されたように、これらを機に市民へのPR、啓蒙そして女医学会自体の組織強化をはかることが出来る。

6、席があたりた手をあげる。考えるのは後からでも良い。これらの事は自分の人生を変えることになるかも知れないが。二十四年間医師会の理事をやり、昨年から副会長になった私は、全く同感するものがありました。私たちがの時は、今は日本でも女性の実力で勝負できる時代になってきました。若い先生方に当日の話を伝え、やる気を起こさせたいと痛感しました。ひきつづきその後の懇親会

男女共同参画社会について

渉外部 田中蘭子

1948年12月10日、「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」という世界人権宣言がパリで行われた第三回国連総会で採択されたから半世紀たった。二十世紀の前半が、人権の無視、軽視による野蛮な戦いの連続であった事を考へると全くもつともな事で誰もが納得出来るのであるが、さて、その実践に関しては、過去五十年、各国がどのように成果をあげて来たのか？遅々として進まない感を抱くのは私だけではないか。

わが国においては、政府は平成6年7月の閣議決定により、男女共同参画推進本部を内閣に設置し、内閣官房長官を担当大臣として、総理府に男女共同参画室を置いた。その目的の第一に人権の確立を挙げている。男女を問わず個人がその能力と個性を十分に発揮できる社会、すなわち男女共同参画社会の実現を緊急の重要課題としている。そして「男女共同参画2000年プラン」を策定した。これは1995年(平成7年)北京で開催された第4回世界女性会議で採択された。「行動綱領」や、

1999年「加藤シヅエ賞」募集要項
目的：家族計画と女性解放運動のパイオニアである加藤シヅエ日本家族計画連盟会長/ジョイセフ会長の長年の功績を称え、その精神と志が次世代にも長く引き継がれるよう、将来をになう女性を鼓舞し育成する。
対象：性と生殖に関する健康(リプロダクティブ・ヘルス)個人とくに女性の生涯にわたる健康。月経、避妊、妊娠、出産、中絶、不妊、思春期、更年期、女性特有の病気、性暴力、性感染症、HIV/AIDS、売買春、セクシュアリティなどが幅広く含まれる。
性との生殖に関する権利(リプロダクティブ・ライツ)個人、とくに女性の性やからだ、産む産まないに関する自己決定権。

わが国においては、政府は平成6年7月の閣議決定により、男女共同参画推進本部を内閣に設置し、内閣官房長官を担当大臣として、総理府に男女共同参画室を置いた。その目的の第一に人権の確立を挙げている。男女を問わず個人がその能力と個性を十分に発揮できる社会、すなわち男女共同参画社会の実現を緊急の重要課題としている。そして「男女共同参画2000年プラン」を策定した。これは1995年(平成7年)北京で開催された第4回世界女性会議で採択された。「行動綱領」や、

『命燃えて』観劇の後に

秋田支部 金子ミサヲ

久々の観劇の朝、東京の空は青く澄み、上空に願ってもない美しい富士の姿を見出し、富士へのあこがれは信仰に近いもの、そのままその日の饒幸につながるものでした。
開演は、スライド写真による時代背景、江戸の街並、北埼玉の農村風景などの紹介、北埼玉の浪瀬村の名主の娘、五女さんの波瀾万丈の物語りの幕明けとなる。ぎんは生まれながら利発の子、読み書きに優れ、賢く美しくもあつた。そして十六歳、近くの豪農の長子へ嫁ぎ、不幸にも夫から不慮の病、膿淋をうつされ、離婚となる。暗く悲しい人生の始まり……

若い志方氏の理想郷建設画実現の夢のもと北海道に渡る。極寒の想像を絶する困難の道が待ちかまえている。舞台装置の広袤として寂しく、道は険しく自らを極限まで酷使し、同志の救済のためがんばるが遂に温暖の地瀬棚の地に撤退する。
新しい地での開業、また志方氏の伝導に明けくれる日々の中に、若くして脳出血で倒れ、ドラマの吟子先生を待ちあぐねるの臨終間際、三田佳子さん扮する吟子先生が石原良純氏志方に、こんな若くてハンサムな人と結婚できたんですもの、とても幸でしたと、笑いを誘うこのセリフの中に、男と女の永遠の愛の真実がかくされているのようです。知性派の吟子先生にすべての栄華、財産を捨てさせたのもここにあったのでしよう。艱難辛苦、あらゆる困難を我が身で受けとめ「命燃えて」の信条を貫く強靱な意志。そこには「女の宿命と戦った偉大な母の血が受

私の大学【岩手医科大学】

岩手支部 佐々木美香

私の母校、岩手医科大学は、盛岡市の中心部に位置し、岩手県庁、盛岡地方裁判所等と隣接する官庁街の一角にあり、しかし都心のオフィス

の盛岡城址(別名不来方城)である緑豊かな岩手公園など、名所旧跡にも徒歩で行ける距離にある。蛙が遡上する清流北上川、南部片富士の異名を持つ岩手山も風情を増している。
大学の敷地内には、医学部本館、医学部附属病院、歯学部、歯学部附属病院、岩手県高次救急センター、そして平成9年設立の循環器医療センターが建ち並び、岩手県医療の中核の役割を担っている。
本学の歴史は古く、約百年前に遡る。創立者三田俊次郎氏が岩手県の医療貧困を憂い、明治30年(1897)に岩手病院を開設し、四年後岩手医学校を設立した。そののち、明治後半の医育改革により廃校の止むなきにいたったが、同氏の医学教育に対

日本女医学会 一般公開講演会
日時：平成11年2月11日(木) 建国記念日
午後1時から午後3時30分まで
場所：千葉県医療センター1階大ホール
千葉市中央区千葉港5-25
TEL 043-241-1042
演題：健康やかに楽しむ長寿社会
心と心臓の専門家に聞く
司会 竹宮 敏子先生
講師 田中 朱実先生
楠元 雅子先生
(入場無料)

平成9年度 日本女医学会会員学位取得者一覧表

(学術部) 平成10年12月10日

全国医科大学80校に調査依頼し40校より回答あり結果306名の学位取得者中7名の既会員があり、会員外で住所判明の278名に入会のお誘いをし6名の入会あり。(※印は平成8年度学位取得者)

(敬称略)

Table with columns: 支部, 氏名, 出身校, 卒年, 論文名. Lists members and their research papers.

私(約二十年前、入学と同時に盛岡の地を踏んだ。春とはいえない寒さ... 現在、附属病院に女医の数が... 今後女医の活動範囲はますます広がる... 会の発展に期待するものである。

理事会議事録

日時：平成10年7月25日(土) 午後3時より

場所：日本女医学会会議室

出席者：石原、加藤、橋川、青井、大坪、栗原、佐々木、澤口、鹿田、清水、田中、西嶋、平敷、松井、松本、丸茂、宮原、村田、中濱、野澤 (以上20名)

欠席者：橋本、大澤、川田、佐藤、久田、吉崎 (以上6名)

6月理事会議事録を承認 報告事項 宮原理事 一、庶務報告 承認される。

別紙とおり報告、承認される。 二、会計報告 栗原理事 平成10年6月分収支別紙とおり報告、承認される。6月の会費納入状況の説明があった。

三、各部報告

【事業部】 丸茂理事

*都支部連合会会長齋藤歌子先生に芝居「命燃えて」観劇券購入の協力依頼をし、了承を得る。また、理事の協力も要請。

*妻沼町発行の漫画小冊子「荻野吟子」の購入協力も要請。

【渉外部】 松井理事

*総理府男女共同参画審議会より、男女共同参画社会基本法(仮称)の論点整理についての意見募集の報告があり、理事の意見を募る。

【広報部】

大坪理事 *会誌155号の校正会議を7月16日に開催、今月中に発送予定。

【協賛事項】 一、国際女医学会について *Early Registrationは8月31日締切。

*国際女医学会(資料(物故会員、50年会員、40歳以下会員)を提出。

*日本の投票権は15票。 *多数の出席を要請。

二、高齢会員の会費について *八十歳以上が三三五名、八十五歳以上が八五名、九十歳以上が一四名なので全員減免は不可能であるとの結論となる。

*会誌に減免希望申し出の広告掲載を検討したが、まず三〇〇万円からの財源確保が必要であり、「軽井沢セミナー」を行ってはどうかとの意見も出された。

三、女医の環境整備支援体制について *他女性団体と協力し女性の労働問題に関する要望書を作成し、関係各省、各団体に提出することに決定。

*メンバーは会長、副会長、各部より一名ずつ(渉外部は二名)、荒木会員(港支部)、早乙女会員(渋谷支部)。第一回会合を8月30日(日)11時より行う。

四、その他 *バプアニューギニア津波災害の救援金を募るか否かを諮り、全員賛成で会員に一口二千元で募集することに決定。156号会誌に同封する。オーストラリア、ニュージーランドのナショナルコーディネーターを通じて、各国の対応の仕方をEmailでたずねる。

*朝日新聞・ひとときの欄に記載された「女医さんはどこに」に対し田中理事が返答の投稿をする。

*8月6日に日本医師会との「第1回女性会員懇談会」が行われる。また、地区の医師会にも積極的に参加し、女医の存在をアピールすることが重要であるとの指摘があった。

*北海道支部より公開講演会支援の打診があり、以前開催希望していた長崎支部に開催予定の有無を聞き、予算内で収まるなら検討する。

*庶務部より会員名簿の訂正・追加一覧表を印刷したいとの希望があり、出費になるが作成し会誌に同封することに決定。

理事会議事録

日時：平成10年9月26日(土) 午後3時より

場所：日本女医学会会議室

出席者：橋本、石原、加藤、橋川、大坪、栗原、佐々木、鹿田、清水、西嶋、久田、松井、丸茂、村田、中濱、野澤 (以上16名)

欠席者：青井、大澤、川田、佐藤、澤口、田中、平敷、松本、宮原、吉崎 (以上10名)

7月理事会議事録を承認 報告事項 清水理事 一、庶務報告 承認される。

別紙とおり報告、承認される。 二、会計報告 栗原理事 平成10年7、8月分収支別紙とおり報告、承認される。7、8月の会費納入状況の説明があった。

三、各部報告 佐々木理事 【広報部】 *会誌156号の割付会議を9月25日に開催、今月中に発送予定。

【渉外部】 加藤副会長 *総理府男女共同参画審議会より「男女共同参画社会づくりに向けての全国会議」に出席の報告。

*長崎県支部で希望していた公開講演会は講師の都合が合わずに中止となった。

*漫画小冊子「荻野吟子」の販売で八八枚になり、収益は約三万円になる見込み。

*バプアニューギニア津波災害の救援金を募るか否かを諮り、全員賛成で会員に一口二千元で募集することに決定。156号会誌に同封する。オーストラリア、ニュージーランドのナショナルコーディネーターを通じて、各国の対応の仕方をEmailでたずねる。

*朝日新聞・ひとときの欄に記載された「女医さんはどこに」に対し田中理事が返答の投稿をする。

*8月6日に日本医師会との「第1回女性会員懇談会」が行われる。また、地区の医師会にも積極的に参加し、女医の存在をアピールすることが重要であるとの指摘があった。

*北海道支部より公開講演会支援の打診があり、以前開催希望していた長崎支部に開催予定の有無を聞き、予算内で収まるなら検討する。

*庶務部より会員名簿の訂正・追加一覧表を印刷したいとの希望があり、出費になるが作成し会誌に同封することに決定。

副会長(庶務担当) 橋川 鹿田、清水

理事会議事録

日時：平成10年10月24日(土) 午後3時より

場所：日本女医学会会議室

出席者：橋本、石原、橋川、青井、大坪、川田、栗原、佐々木、鹿田、清水、田中、久田、平敷、丸茂、宮原、村田、吉崎、中濱、野澤 (以上19名)

欠席者：加藤、大澤、佐藤、澤口、西嶋、松井、松本 (以上7名)

9月理事会議事録を承認

報告事項

一、庶務報告 宮原理事 別紙どおり報告、承認される。

二、会計報告 川田理事 平成10年9月分収支別紙どおり報告、承認される。9月の会費納入状況の説明があった。

三、各部報告

【事業部】 久田理事 *北海道支部主催の公開シンポジウム「荻野吟子を知っていますか？」に二〇万円を送る。

*公開講演会を千葉県支部で来年2月11日に「健やかに楽しむ長寿社会―心と心臓のケア―」を計画。講師として竹宮敏子先生、田中朱美先生を予定。

【渉外部】

*総理府男女共同参画審議会より「男女共同参画大臣との懇談会」に出席の報告。 *「ビル」に関しての講演会を開催してはとの意見が出された。 *広報部 大坪理事 *会誌156号の校正会議を10月19日に開催。発送は来月初めになる見込み。 【国際女医学会議報告】 *会長より 役員会議が10月6、7日に行われ西太平洋地域会議の副会長をニュージーランドのDr. Maxwellに無事引き継ぐ。来年、韓国での西太平洋地域会議が中止になったため、各国の会長またはナショナルコーディネーターによる会議の開催が希望されている。2001〜2004年のMWA会長にカナダのDr. Shelley Rossが選出された。 <橋本会長の国際女医学会副会長としての活躍に対し拍手を贈る。> *ナショナルコーディネーターより10月8日〜13日のサンパウロでの国際会議の出席者は九七名、日本よりは七名、緊急動議としてアフガニスタン女医のおかれている過酷な状況に対する抗議支持の要請があったなど、会議の報告があった。

協議事項

一、日本女医会一〇〇周年記念事業の件

*一〇〇周年記念事業を行うか否か諮った結果、全員賛成で行う事に決定。 *会長、副会長、各部より一名で一〇〇周年記念事業委員会を構成する。 *一〇〇周年史についても同様、全

員一致で作ることに決定。広報部が中心として行う。

*第1回委員会をなるべく早く開催する。 二、2004年国際女医学会議誘致の件 *現在立候補している横浜、大阪、広島の中でアクセスの便利な大阪が良いとの意見が圧倒的に多く、川田理事が大阪支部で検討する。 *日時は定時総会を兼ねて5月末頃の意見が多かった。 三、その他 *新年会、忘年会について―忘年会は行わず、新年会を1月23日に理事会を兼ねて行い、会場は庶務部で検討する。 *庶務部より11月7日に開催する「第1回ブロック別懇談会」進行の説明があった。 *東京都支部連合会より歌舞伎座の切符購入の依頼あり。 *「荻野吟子」漫画本の販売を事業の一環として行う。 *計画中の日本人ベル移住一〇〇周年記念事業(医学シンポジウムなど)に協力をする。 *パプアニューギニアへの救援金は市民平和基金(朝日新聞に記載)へ寄付する。 *来年4月開催の日本医学会総会へ多数の参加を要請。

副会長(庶務部担当) 橋川 鹿田、清水、宮原

会員動静(敬称略)

新卒入会者(敬称略)

- 山田真美子 秋田
- 阿部美華子 宮城
- 渡邊 正子 埼玉
- 塩野 悦子 千葉
- 飯島 裕子 千葉
- 白井 真帆 都下東
- 松下記代美 大阪第9

入会者

- 平山 恵美(平2年卒) 北海道
- 横山 敦子(昭62年卒) 北海道
- 松田 文子(昭36年卒) 栃木
- 中木 基江(昭59年卒) 江東
- 山住 令子(平2年卒) 杉並
- 樋口佳奈子(平8年卒) 墨田
- 中島美恵子(昭55年卒) 中野
- 田村 悦代(昭54年卒) 練馬
- 片桐佐和子(昭63年卒) 東女学内
- 金澤 美穂(平3年卒) 東女学内
- 田辺 晶代(平元年卒) 東女学内
- 恒川 卓子(平9年卒) 愛知
- 安部美科子(平6年卒) 福岡
- 古川 弘子(昭60年卒) 福岡
- 押淵 禮子(昭41年卒) 長崎

退会者

五名

- 島田 春江(昭9年卒) 埼玉
- 村山 和子(昭46年卒) 千葉
- 姉小路和子(昭26年卒) 葛飾
- 中村 さん(昭26年卒) 世田谷
- 守安 素女(昭19年卒) 世田谷
- 山崎 峰子(昭5年卒) 愛知

集記 編後

新年おめでとうございます。橋本葉子会長の巻頭言「初夢に託す」を読み感動しました。日本女医会が全力をあげとり組み、実現させていかなければならない事が、はっきりと示されています。①働く女性の環境整備。②一〇〇周年記念事業。③2004年第26回国際女医学会議開催。④日本医師会理事に女性医師がなる。⑤国会議員に女性医師がなる。実現してほしいものばかりです。初夢に終らせず、みんなで前向きにとり組んでいきましょう。

第24回国際女医学会議に出席しました。先進国と発展途上国とは会議に期待するものが違うようですが、世界の女医が集まり会議し交流を深めるのはすばらしい事です。『大いなる雲移り来ぬアマゾンに雨迫りくる樹々のざわめき』(大坪)

日本女医学会誌 第157号

平成11年1月25日発行

編集人 大坪公葉子
発行人 橋本金剛
制作 制

発行所 社団法人 日本女医学会
東京都渋谷区渋谷2-8-7
青山宮野ビル 電話 03-3498-0571
〒150-0002 FAX 03-3498-8769